

# 業務状況説明書

(令和6年10月1日から令和7年3月31日まで)

富士見市水道事業

## 1 令和6年度下半期の状況

### (1) 事業の概況

#### ア 営業

令和6年度末における給水人口は、112,858人で、前年度末に比べ129人の増加となっています。

年間配水量は、11,096,720<sup>m</sup>で、前年度に比べ88,730<sup>m</sup>の減少となっており、人口が増加しているにもかかわらず、配水量が減少するという傾向がみられました。

区 分 \ 年 度		令和6年度 (年度末)	令和5年度 (年度末)	比 較	
				増減	比率 (%)
給水人口 (人)		112,858	112,729	129	100.11
配 水 量	総 量 (m <sup>3</sup> )	11,096,720	11,185,450	△88,730	99.21
	1日最大 (m <sup>3</sup> )	33,110	34,120	△1,010	97.04
	1日平均 (m <sup>3</sup> )	30,402	30,561	△159	99.48

#### イ 建設改良事業費

老朽管更新事業については、針ヶ谷2丁目地区の配・給水管布設替 (R2151 外) 工事を実施しました。

浄水場改良事業については、東大久保浄水場県水直送管整備工事、東大久保浄水場県水直送管電気設備工事、東大久保浄水場県水用残留塩素計更新工事、水谷浄水場 No. 2・3 配水ポンプ更新工事及び水谷浄水場 P A S 外更新工事を実施しました。

配水管改良事業については、大字鶴馬地区の配・給水管布設 (R765) 工事、大字上南畑地区の送水管布設工事 (県道三芳富士見線外) を実施しました。

また、舗装本復旧工事として、前年度布設替えした R2078 外、R1108 外、R759、R2185 について実施しました。

なお、水谷浄水場次亜注入設備更新工事、送水管布設 (富士見上南畑地区産業団地整備事業) 工事、配・給水管布設 (富士見上南畑地区産業団地整備事業) 工事につきましては、関係機関との協議や材料の調達に不測の日数を要したことなどから、令和7年度に繰越しをいたしました。

(2) 経理の状況（税込）

下半期における経理の状況は、次のとおりです。

ア 収益的収入及び支出

（単位：千円）

科目		予算現額	執行額			執行率 (%)
			上半期	下半期	計	
収入	事業収益	1,912,972	867,206	1,057,390	1,924,596	100.61
	営業収益	1,826,552	866,109	988,609	1,854,718	101.54
	営業外収益	85,920	260	68,781	69,041	80.35
	特別利益	500	837	0	837	167.40
支出	事業費	1,765,546	460,158	1,181,954	1,642,112	93.01
	営業費用	1,716,316	456,630	1,137,848	1,594,478	92.90
	営業外費用	47,230	3,124	44,106	47,230	100.00
	特別損失	1,000	404	0	404	40.40
	予備費	1,000	0	0	0	—

イ 資本的収入及び支出

（単位：千円）

科目		予算現額	執行額			執行率 (%)
			上半期	下半期	計	
収入	資本的収入	11,708	0	868	868	7.41
	他会計負担金	4,800	0	868	868	18.08
	工事負担金	6,908	0	0	0	—
支出	資本的支出	1,140,882	89,140	466,862	556,002	48.73
	建設改良費	1,053,034	45,474	422,681	468,155	44.46
	企業債償還金	87,848	43,666	44,181	87,847	100.00

## 2 令和7年度予算の概要

### (1) 予算編成概要

令和7年度の水道事業予算については、給水人口は微増が見込まれるが、生活用水量（家庭内での使用水量）は、減少傾向が見込まれる。また、物価高騰等の影響を受けている、市民及び事業者を支援するため、水道基本料金を2調定（4か月分）免除するため、水道料金は減額を見込んでいる。

その一方で、水道施設を維持するために多額の費用が見込まれることから、水道ビジョンに基づく施設の計画的な整備と維持管理に努め、安心・安全で安定的な水道水の供給を可能とするための事業を中心とした予算編成に努めた。

### (2) 業務の予定量

年 度 区 分		令和7年度	令和6年度	増減
		給水戸数（戸）	56,276	55,421
配 水 量	総 量（m <sup>3</sup> ）	11,302,735	11,330,557	△27,822
	1日平均（m <sup>3</sup> ）	30,966	31,043	77

### (3) 予算規模

第3条予算（収益的収入及び支出）の収入は、前年度比0.9%減の18億9,570万9千円、支出は、前年度比1.8%増の17億9,692万円で、収支差引では、9,878万9千円の黒字を見込んでいる。

第4条予算（資本的収入及び支出）の収入は、前年度比561.8%増の7,748万8千円、支出は、前年度比38.0%減の5億1,483万9千円で、収支差引では、4億3,735万1千円の赤字が見込まれている。

## (4) 収入支出明細書

## 収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
水道事業収益			1,895,709	
	営 業 収 益		1,823,149	
		給 水 収 益	1,320,502	水道料金の予定額を計上
		受 託 工 事 収 益	18,193	受託工事収益の予定額を計上
		補 償 金	1,060	修繕工事による補償金の予定額を計上
		加 入 金	174,955	加入申込金の予定額を計上
		そ の 他 営 業 収 益	308,439	他会計負担金、下水道使用料徴収受託料等を計上
	営 業 外 収 益		72,060	
		受 取 利 息	1,199	預金利子の予定額を計上
		消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 還 付 金	8,253	消費税及び地方消費税還付予定額を計上
		長 期 前 受 金 戻 入	61,914	長期前受金の戻入予定額を計上
		雑 収 益	694	その他雑収益を計上
	特 別 利 益		500	
		過 年 度 損 益 修 正 益	500	過年度損益修正益を計上

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
水道事業費用			1,796,920	
	営 業 費 用		1,790,167	
		原 水 及 び 浄 水 費	906,143	浄水及び送水に必要な経費を計上
		配 水 及 び 給 水 費	178,356	配水及び給水に必要な経費を計上
		受 託 工 事 費	17,974	受託工事に必要な経費を計上
		業 務 費	167,370	検針及び収納に必要な経費を計上
		総 係 費	84,886	事務運営に必要な総括的経費を計上
		減 価 償 却 費	431,928	償却資産に対する減価償却費を計上
		資 産 減 耗 費	3,510	固定資産除却費等を計上
	営 業 外 費 用		4,753	
		支 払 利 息	3,753	企業債及び一時借入金利子を計上
		雑 支 出	1,000	その他雑支出を計上
	特 別 損 失		1,000	
		過 年 度 損 益 修 正 損	1,000	過年度損益修正損を計上
	予 備 費		1,000	
		予 備 費	1,000	

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
資 本 的 収 入			77,488	
	他 会 計 負 担 金		4,800	
		他 会 計 負 担 金	4,800	一般会計からの負担金を計上
	工 事 負 担 金		72,688	
		配 水 工 事 負 担 金	72,688	産業団地の上水道施設に係る負担金等を計上

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
資 本 的 支 出			514,839	
	建 設 改 良 費		436,870	
		建 設 総 係 費	32,127	建設に必要な事務費を計上
		老 朽 管 更 新 事 業 費	225,200	老朽管更新に必要な工事費等を計上
		浄 水 場 改 良 費	72,600	浄水場改良に必要な工事費等を計上
		配 水 管 改 良 費	72,650	配水管布設工事費等を計上
		量 水 器 費	3,493	量水器在庫予定額を計上
		固 定 資 産 購 入 費	30,800	給水タンク車1台の購入費を計上
	企 業 債 償 還 金		77,969	
		企 業 債 償 還 金	77,969	企業債元金の償還金を計上